

「人にも優しい」。

身体負担を軽減するため、利便性を高めるよう工夫して「人にも優しい」。



阿津坂商事(有)代表取締役 阿津坂芳徳さん

# 夢追い人

今回の夢追い人に登場しているのは、阿津坂芳徳さん。「人に優しく」をテーマに、いろいろな製品を企画し、販売しておられる。

昨年の華胥の夢博で、一際目を引く作品があった。それは、身体の不自由な高齢者を念頭に置



光触媒タオル

いた、服吊りとダストボックス付き整理タンス。これら老人介護用家具を企画したのは、阿津坂芳徳さんである。服吊りの取っ手は、高齢者の身体を支える手すりを兼ねている。「光り物」の飾りを使った、少し派手目のデザインは、年配者の心が晴れるような雰囲気を出したためだそう。ダストボックス付き整理ダンスの特色は、その名の通り汚物を捨てる収納ボックスが付いているところ。身体負担を軽減するため、利便性を高めるよう工夫されている。また華胥の夢博で昨年グランプリを獲得した、桐工房の作品には、阿津坂さんの手がける自然塗料が使われている。これは、世界一環境基準の厳しいドイツ

の製品で、リボス社製。これも「人に優しく」の発想で扱っている。近年、塗料などに使われているホルムアルデヒドの有害性が富みに叫ばれるようになってきている。新居に住み始めたものの、目がちかちかするとか、吐き気や頭痛が続くなどの症状で、結局退居を余儀なくされるケースが増えていくそう。これは高気密の住空間の中で起こる、シックハウス症候群という病気で、壁や家具の塗料から発生するホルムアルデヒドが原因だ。一方リボスの自然健康塗料は、ホルムアルデヒドを全く含まず、植物成分と蜂蜜ワックスと無毒無害の顔料成分から成っている。無公害で快適な住空間形成のため、今、市内10社ほどがこの塗料を

使い始めている。環境問題が重視されていく時代にあつて、こうした自然塗料は、人に優しい将来性のある製品といえるだろう。阿津坂さんが今もつとも注目しているものに、光触媒がある。酸化チタンの光化学反応を利用して防菌、防臭、大気汚染物質を分解するものだ。酸化チタンは人体に安全な無機化合物で、ペイント、化粧品、食品添加物として広く使われているが、光エネルギーを受けると、殺菌作用のある活性酸素を発生させる。この酸化チタンを施した抗菌タオルは、室内蛍光灯程度なら、約1時間、暗いところでも約3時間で、院内感染で問題のMRSAや大腸菌などの細菌を99.9%死滅させるという。(東大藤島教授の調査)アトピーや床ずれなどにも大きな効果があるそう。

現在、阿津坂さんは、日本食品



老人介護用家具

衛生研究所に調査を依頼し、食器棚の棚板や壁板に張る防菌シートの効果を実験してもらっている。添島勲商店には、畳の中に入れる酸化チタン(光触媒)の効力調査を依頼している。効果が実証されれば、積極的に商品化に取り組んでいくつもりだ。人に優しくをテーマにいろいろな商品を手がけている阿津坂さんは、ボランテアにも関心がある。大川市内の青年部を統括する、大川活性化協議会の創設にも深く関わった。これからもボランテアともに「人に優しい」製品を企画してほしいと思う。